

Flex with Google App Engine for Java

Presented by wacky

はじめに

- Flex楽しい～(2007年末から始めました)
 - でも、本格的に作るならサーバが欲しいなぁ～
 - サーバ持つとお金がかかるのよね...
-
- お？Javaが無料で使えるサーバが公開されている？
 - さすがGoogleさん、太っ腹！
 - さっそく試してみないと！

Google App Engine for Javaとは？

- クラウドコンピューティングプラットフォーム
 - 自動スケールアウト可能な、Webアプリケーション実行環境
 - ライバル
 - Amazon EC2(Elastic ComputeCloud)
 - Microsoft Windows Azure
- 2009/4/7にデビュー
 - Google App Engine 2 番目の開発言語
 - 初代はPythonで、2008年5月に提供されています
 - 現在Early Look
 - 2万5千人限定で公開中
- ほぼ無料？
 - 500万ページビュー/月程度に必要なリソースまでは無料
 - 2009/6/22に無料範囲が減りました...

価格表

リソース	無料(1 日)	有料(1 日)	従量課金
Requests	1,300,000	140,000,000	
- Outgoing	1 GB	(最大: 1046GB)	\$0.12 / GB
- Incoming	1 GB	(最大: 1046GB)	\$0.10 / GB
- CPU Time	6.5 CPU hours	(最大: 1729 hours)	\$0.10 / CPU Hour
Stored Data	1 GB	(制限なし)	\$0.15 / GB / Month
- Send	12 GB	72 GB	
- Received	115GB	695GB	
- CPU Time	60 CPU hours	1200 CPU hours	
E-mail	2,000 recipients	(最大:7,400,000)	\$0.0001 / recipient
URL Fetch(API call)	657,000	46,000,000	
Deployments	250	250	

<http://code.google.com/intl/ja/appengine/docs/quotas.html>から抜粋 + α

Google App Engine for Java開発 (表)

- 一般的なJavaのInterfaceでプログラムが書ける
 - Java 6実行環境
 - Servlet / JSP
 - JDO 2.3, JPA 1.0 BigTable
 - JavaMail
 - JCache(JSR 107) Memcache
- 開発は、Eclipse上で行う
 - ローカルでデバッグ実行可能
 - ボタンをクリック&パスワード入力でデプロイ可能

Google App Engine for Java開発 (裏)

- ファイルシステムの実体はGFS(Google File System)
- データベースの実体はBigTable
 - Google提供サービスに裏打ちされたクラウド対応DB
 - スケーラビリティ命！
 - だから...
 - 最大1000件しか取得できないけど気にしないで
 - テーブルの結合検索苦手だけど気にしないで
 - テーブルの非正規化推奨！
 - 専用Indexが無いとソートできないけど気にしないで
 - 検索条件無し、ソート対象カラムが1つならソート可能...
 - Index追加しても直ぐに使えない仕様なのでよろしく～
 - Group byなんか無いけど気にしないで
 - グローバルトランザクション無いけど気にしないで
 - 同一グループに属するテーブル間のみトランザクション制御可

それって専用設計が
必要って事ですね...

その他の制限...

- リクエストは 30 秒以内
 - Cron処理も 30 秒以内...
 - Threadの作成禁止...
 - 実は 5 秒ぐらいでタイムアウトする場合あり...
- サーバにはファイル書き込み不可
 - 静的なファイルは問題なく配備できます
 - 読み込みは問題ありません
- JNIが使えない
- ネットワーク接続に制限あり

無料だから許す（何様

良い事も書いておこう...

- デプロイがすごく簡単
- 負荷に応じて自動的にスケールアウト
- ローカルデバッグ用の環境が提供されている
- 複数Versionを同時に実行可能
- アプリケーションの管理コンソールがある
 - リソース使用状況が詳細にわかる
 - URL別のアクセス回数、平均処理時間も分かる

ここからが本題です

AMFとは？

Action Message Formatの略です

Adobe LiveCycleDSをオープンソース化したBlazeDSが有名

(※最近、初めてAMF通信を使ったのは秘密です...)

- 長所

- 自動でシリアライズ・デシリアライズ
 - カスタムクラスも自動変換
 - Flex側の処理がビルドインで高速
- 通信データがコンパクト
 - gzip形式で圧縮してから送信

- 短所

- Adobe独自形式
 - サーバ資産が、Flex専用になってしまう？
 - あまり依存しないみたいです（設定ファイルだけ依存？）
 - 仕様は公開されています
- バイナリ形式で可読性が低い

BlazeDS (設定)

- 設定してみました...
- 動きません...(涙)

```
[amfsample/test.334570280228619442].<stderr>: ****  
MessageBrokerServlet failed to initialize due to runtime exception:  
Error: java.lang.NoClassDefFoundError:  
java.lang.management.ManagementFactory is a restricted class. Please  
see the Google App Engine developer's guide for more details.
```

Google App Engineが
サポートしていないJava APIを使用していますね...

The JRE Class White List

<http://code.google.com/intl/ja/appengine/docs/java/jrewhitelist.html>

ご清聴、
ありがとうございました

m(_ _)m

嘘です...ごめんなさい...

- もうちょっと調べてみました...
- GAEで実績のあるAMF通信可能なライブラリ
 - WebORB
 - <http://www.themidnightcoders.com/blog/2009/04/running-weborb-for-java-in-google-app.html>
 - <http://www.themidnightcoders.com/products/weborb-for-java/overview.html>
 - GraniteDS
 - <http://graniteds.blogspot.com/2009/04/graniteds-20-on-google-app-engine.html>
 - <http://www.graniteds.org/confluence/display/INTRO/2009/06/18/Granite+Data+Services+2.0.o.GA+released>
- でも、こんな記述もある...
 - <http://martinzoldano.blogspot.com/2009/04/appengine-adobe-blazeds-fix.html>

動きました！

- でも、制限が...
 - Remoting(RCP)しか動かないみたいです
 - サービスの同時実行が不安定

BlazeDS設定方法 (前提)

- お断り
 - 前述の制限がある設定方法です
- 前提
 - Eclipse 3.4 (Ganymede)
 - Adobe Flex Builder 3.0.2 Plug-in
 - Google App Engine for Java
 - ID登録(携帯必須)
 - 更新サイト: <http://dl.google.com/eclipse/plugin/3.4>
 - Google Plugin for Eclipse 3.4
 - Google App Engine SDK for Java 1.2.1 (2009/5/13)

BlazeDS設定方法 (本編)

- 設定手順

- Web Application Project(GAE)を作成する

- WEB-INF/appengine-web.xml
 - application
 - version
 - session-enabled

- BlazeDSを追加

- blazeds.warを、Webアプリケーションルートにインポート
 - WEB-INF/flex/services-config.xml
 - WEB-INF/flex/remoting-config.xml

- Flex Projectを作成

- <http://learn.adobe.com/wiki/display/Flex/Creating+Flex+Builder+Projects+that+Use+Server+Technologies>

BlazeDS設定方法 (暫定処置)

- ここまでの設定で、ローカル実行は可能ですが、GAEにデプロイして実行するとエラーに...
下記2項目の暫定処置が必要です
- BlazeDSの管理機能が無効化
 - WEB-INF/flex/services-config.xml
 - manageableをfalseに変更
- セッション重複エラーを潰す
 - BaseHTTPEndpointを修正する

※BufferedInputStreamでラップする修正は不要

BlazeDS設定方法 (デモ)

- 下記のデモを予定
 - 実際に設定を行ったプロジェクトの参照
 - Hello Worldアプリ付き
 - Google App EngineへのDeployデモ
- JDOを含む簡単なアプリケーションのデモ

<http://appengine.google.com/>

App Engineの管理コンソール

<http://amfsample.appspot.com/>

Sampleアプリケーション

実用的なサンプル(?)

- こんなのも提供しています...

モンスターハンター フロンティア 防具検索 試着室 防具セット Presented by ひとみ@蒼の記憶

登録者: 指定なし スキル: 装填 装填速度+3 装填速度+2 装填速度+1 装填速度-1 追加 削除 装填速度+3(40件) 装填数UP(79件) ユーザ設定

検索: 366/366 35件 アルバム表示

登録者	防具セット名	装備可能				防御	耐性					スキル
		男	女	剣	弓		火	氷	雷	毒	水	
頻夜	NEW 高防衛ガンナ	男	女		弓	681	12	13	13	11	17	装填速度+3、反動軽減+2、防御+20、高級耳栓、各耐性+10、寒さ半減、装填数UP、絆
頻夜	NEW 火事場ガンナ		女		弓	412	6	3	5	6	3	麻痺無効、見切り+3、装填速度+3、反動軽減+1、攻撃力UP[大]、高級耳栓、火事場力+2、装填数UP、火属性攻撃強化[小]、耐振+1
Marduk	ガンナ	男	女		弓	381	12	4	13	6	3	見切り+3、装填速度+3、反動軽減+2、攻撃力UP[大]、高級耳栓、最大弾生産、火事場力+2、装填数UP
yukipo	貫通強化ガンナー	男	女		弓	381	14	3	21	1	4	見切り+3、装填速度+3、反動軽減+2、貫通弾・貫通矢威力UP、攻撃力UP[大]、高級耳栓、火事場力+2、装填数UP
かれいち	ガンナー 防具その2	男			弓	344	10	14	2	11	8	見切り+3、装填速度+3、反動軽減+2、攻撃力UP[大]、最大弾生産、火事場力+2、装填数UP、ひらめき
kobukuro	ドドン用	男	女		弓	334	17	9		5	5	麻痺無効、見切り+2、装填速度+3、反動軽減+2、攻撃力UP[大]、高級耳栓、火事場力+2、装填数UP、耐振+1
taku	100ガンナー	男	女		弓	331	19	6	-1	9	2	麻痺無効、見切り+2、装填速度+3、反動軽減+2、攻撃力UP[中]、高級耳栓、火事場力+2、装填数UP、耐振+1

名称: 高防衛ガンナ 保存 削除

コメント: 武器: ナナ=ガナール(スロオ2)
対象: 痛いウエ
ポイント: 生き残ること重視

高防衛サボガン装備。
爪護符祥込で防御811

公開: ☒

 画像登録

頭	胴	腕	腰	脚	武器
緬団員の証[附]	シエルブリガンテス	音無珠G	音無珠G	絆珠G	
	マフモフリストン	弾穴珠	弾穴珠		
	キリンシヨルトSP索	装填珠SP			
	エクエスフレギンス	反動珠G	反動珠G	防衛珠	
		防衛珠	防衛珠		

<http://mh.develop.jp/flex/>

おわりに

- 自己紹介（今更
 - 富山で働いています
 - 社内の業務システムとか作っています
 - 開発言語はいろいろ
 - Java / Flex / PHP / C / C++ / ...
- Googleさんに、お願い...
 - XMPP対応を早期リリースして下さい `m(__)m`
- Google App Engine(BigTable)は非常識で楽しいので、是非、試してみてください～

Version (予備)

- Google App Engineのデプロイは...
 - アプリケーションID別 (最大 1 0 個)
 - [http://\(application\).appspot.com](http://(application).appspot.com)
 - Version別 (任意の名前)
 - [http://\(version\).latest.\(application\).appspot.com](http://(version).latest.(application).appspot.com)
- Versionが違うと？
 - 複数のインスタンスを同時にサーバで動かせる
 - 本番
 - テスト中
 - メンテナンスツール(Pythonでも大丈夫)
 - インデックスの削除がPythonからしか行えなかったり...
 - Datastore, Memcacheは共有

BlazeDSで画像配信 (予備)

- 画像配信部分に関するTips
- 前提: 画像データはデータベースに保存
- 普通にBlazeDSで送ってみた
 - キャッシュされません...
 - ファイルに保存することは不可能...
 - メモリーに乗せておくには大きい...
 - 圧縮の恩恵も皆無だし...
- 結論: 素直にServletで送りましょう^^;
 - ブラウザのキャッシュが有効活用できます
 - URLを再利用しない設計がお勧めです

画像配信Servlet(サンプル)

```
public void doGet(HttpServletRequest request, HttpServletResponse response) throws IOException {  
    long since = request.getDateHeader("If-Modified-Since");  
    String path = request.getPathInfo();  
    String imageId = null;  
    if (path != null && path.length() > 1) {  
        imageId = path.substring(1);  
    }  
  
    PersistenceManager pm = PMF.getPersistenceManager();  
    try {  
        ImageData image = pm.getObjectById(ImageData.class, imageId);  
        long createTime = image.getCreateTime().getTime();  
        createTime -= createTime % 1000;  
        if (since >= createTime) {  
            response.setStatus(HttpServletResponse.SC_NOT_MODIFIED);  
            return;  
        }  
        byte[] imageData = image.getImage().getBytes();  
        response.setDateHeader("Last-Modified", createTime);  
        response.setContentType("image/jpeg");  
        response.setContentLength(imageData.length);  
        response.getOutputStream().write(imageData);  
    } catch (JDOObjectNotFoundException e) {  
        response.sendError(HttpServletResponse.SC_NOT_FOUND);  
    } finally {  
        pm.close();  
    }  
}
```